

# 福岡県公安委員会活動状況

## <定例会の主な議題及び要旨>

平成22年4月8日（木）

### 1 協議事項

#### (1) 平成22年度第1回信号機設置計画（案）について

警察本部から「平成22年度第1回信号機設置計画（案）については、四代目工藤會長野会館の事務所開設に伴い、北九州市小倉南区上貫の小学校の通学路が変更されたことから、通学児童の安全確保のため信号機の新設及び増設を計画している。設置時期は4月13日を予定しており、事業費は約460万円である。ご審議願いたい。」旨の説明があった。

公安委員から「早急に対応しているのも、大変良いことだと思う。」旨の意見があった。

公安委員から「了承した。所定の手続きを進められたい。」旨の発言があった。

### 2 報告事項

#### (1) 警察職員による福岡大学での講義の実施について

警察本部から「警察職員による福岡大学での講義の実施については、治安情勢や警察活動の重要性について次代を担う学生の理解を深めるためと広報という点から、平成22年4月13日から『警察活動の理論と実務』と題して、本部長以下警察本部の幹部職員が、大学の単位として福岡大学法学部で実施する。今後、西南学院大学についても実施する方向で調整中である。」旨の報告があった。

公安委員から「法学部だけでいいのか。」旨の質問があり、警察本部から「学生に対する警察への理解と広報を目的にしており、警察官受験者に法学部出身者が多いことなどから法学部としている。」旨の説明があった。

公安委員から「大学での講義は以前から実施していたのか。」旨の質問があり、警察本部から「講演として実施したことはあるが、単位としての講義は初めてである。」旨の説明があった。

公安委員から「講義内容については色々あるようだが、日本警察の歴史や諸外国警察との違い等の講義については大学側と連携をお願いする。」旨の要望があり、警察本部から「そのような分野については大学に専門の教授がいるので、連携することとしている。警察職員の講義については、警察官でなくてはできないような内容としている。」旨の説明があった。

公安委員から「多くの大学から要請があった場合の対応はどのようにするのか。」旨の質問があり、警察本部から「大学からの要請については、できる限り対応したい。」旨の説明があった。

#### (2) 監察関係報告について

警察本部から「平成22年4月7日、本県警察官を児童買春容疑で逮捕した。事案については、平成21年11月22日、大牟田市内のホテルにおいて18歳に満たない児童と知りながら、対償を供与して淫らな行為をしたものである。事実関係を調査の上、処分については公安委員会に報告することとしている。」

旨の報告があった。

公安委員から「児童買春事案については、どのくらい発生しているのか。」旨の質問があり、警察本部から「事件として検挙しているのは年間約40件であるが、事案の特殊性から警察が認知することが難しい事案のため、実際の発生件数はさらに上回ると思われる。」旨の説明があった。

公安委員から「北九州地区を中心に不祥事案が発生しているようだが、何か原因があるのではないか。」また、「警察官の人事異動について、長期間北九州地区に配置しているなどはないのか。」旨の質問があり、警察本部から「今回の事案を含め、不祥事案が北九州地区に偏っていることは事実であるので、人事面も含めて今後、対策を検討することとしている。」旨の説明があった。

### (3) 博多駅前交番の新築・移転について

警察本部から「平成23年新博多駅ビル開業に伴い、博多駅前交番の新築・移転を予定している。交番については、平成23年春竣工で、博多口側に鉄骨造で新設し、ボランティア団体の活動拠点である博多駅前モラル・マナー推進センターを福岡市が併設することとしており、交番と同施設を博多駅前安全安心センターとして位置づけることとしている。」旨の報告があった。

公安委員から「立派な交番ができることは良いと思う。」旨の発言があり、警察本部から「博多駅前広場の景観と調和したデザインとなる予定である。」旨の説明があった。

公安委員から「モラル・マナー推進センターとはどのようなものか。」旨の質問があり、警察本部から「喫煙マナーや自転車の利用者に関する指導員等の拠点として利用することとなる。」旨の説明があった。

### (4) 大牟田市のパチンコ店賞品買取所におけるけん銃使用の強盗殺人未遂等事件被疑者の逮捕について

警察本部から「平成22年1月24日、大牟田市内のパチンコ店賞品買取所で発生したけん銃使用の強盗殺人未遂等事件については、平成22年4月2日、被疑者として大牟田市内居住の無職男性を逮捕し、けん銃1丁、実弾42発を押収した。」旨の報告があった。

公安委員から「被疑者は暴力団との関係はないのか。」旨の質問があり、警察本部から「今のところ暴力団との関係は出ていない。」旨の説明があった。

公安委員から「パチンコ店賞品買取所の小窓からけん銃を撃っているが、中にいた従業員に当たらず幸いである。」旨の発言があり、警察本部から「中にいた従業員は咄嗟に身をかかわしたので命中しなかったものであり、殺人未遂で逮捕している。」旨の説明があった。

公安委員から「発砲事件については、本年に入って何件となるのか。」旨の質問があり、警察本部から「本年に入って6件である。」旨の説明があった。

公安委員から「逮捕したことについては、あまりマスコミ報道がないので、もっと広報してもらいたい。」旨の意見があった。

### (5) 北九州市小倉南区における会社社長殺人事件被疑者の死体遺棄での逮捕について

警察本部から「平成22年3月30日、北九州市小倉南区において発生した会社社長殺人事件については、平成22年4月3日、北九州市八幡東区居住の男性を、証拠資料が明らかとなった死体遺棄で逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「暴力団との関係はあるのか。」旨の質問があり、警察本部から「被疑者は、元暴力団組員である。」旨の説明があった。

**(6) 西部ガス関連施設等に対する連続けん銃発砲事件の発生について**

警察本部から「西部ガス関連施設等に対する連続けん銃発砲事件については、平成22年4月6日、福岡市東区の西部ガス関連施設の正面玄関に数発けん銃が撃ち込まれ、また、平成22年4月7日、福岡市南区の西部ガス関係者の親族方外壁に数発被弾しているのが発覚したものである。今後は、関連企業等に対する警戒強化と事件情報の収集等を行うこととしている。」旨の報告があった。

公安委員から「西部ガスについては、過去もけん銃発砲事案があったが、過去の経過はどうなっているのか。」旨の質問があり、警察本部から「平成18年12月以降、清水建設及び西部ガス関連施設に対するけん銃発砲事件が発生しており、工藤會への資金提供を拒む一部ゼネコン等に対する報復とみて捜査している。西部ガスについては、本年2月4日、ゼネコンとの取引に絡む脅迫事件が発生している。」旨の説明があった。

公安委員から「保護対策を行うには、防犯カメラの設置は必要と思うが。」旨の意見があり、警察本部から「防犯カメラについては、保護対策のために有効であることから、防犯カメラの設置に伴う県費の確保について、知事部局に要請することとしている。」旨の説明があった。